

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	夜間帯に避難が必要になった場合、職員のみ の対応に限界があり、職員以外でも多くの協力を 得られるような体制を作っていくことが今後の課 題である。	事業所(やまゆり)だけでなく、法人全体で避難誘 導を行う体制を作る。	狩川地内在住の本社従業員名簿を作成して応援 できる従業員を把握し、協力をお願いする。	3ヶ月
2			地元の消防団の協力が得られる。	地元の消防団に協力をお願いする。 施設の中をみていただいて避難の際のアドバイ スをいただくとともに、顔の見える関係を築く。	6ヶ月
3			夜間の火災の際には近隣(地域)住民が応援に 駆けつけてくれる体制を作る。	運営推進会議で夜間に火災が発生した場合の避 難誘導に地域住民の協力をお願いしていく。 また、やまゆり祭などの行事に地域住民を招くな ど、交流を図る。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。